

作成年月日	平成 17 年 3 月 28 日
作成部局名	北播磨県民局

交流の舞台づくりの推進について

“ 交流と共生 ” の理念のもと、「都市との交流舞台」として新たな交流の創造を目指す「北播磨交流の祭典(きらっと北播磨 交流大舞台 2005)」を平成 17 年春季、夏季、秋季に 3 会場で開催するとともに、北播磨地域が持つさまざまな資源や都市との交流の接点となる地域特性を生かし、「北播磨 豊かな自然との共生 - 交流の舞台づくり - 」を地域テーマとして北播磨の魅力ある地域づくりを推進する。

1 「北播磨交流の祭典～きらっと北播磨 交流大舞台 2005～」の開催

平成 16 年 12 月の JR 加古川線電化開業、平成 17 年の三木総合防災公園一部開園を新たな地域創造の契機ととらえ、地域の特性・資源・魅力をさらに発信し、新たな交流創出と地域振興を図るため、平成 17 年春から秋にかけて、「北播磨交流の祭典」を開催する。

(1) きらめき舞台

期 間 平成 17 年 4 月 29 日 (祝・金) ～ 5 月 1 日 (日)

場 所 播磨中央公園 芝生広場 及び フラワーセンター

テーマ 北はりまの “ まつり大集合 ”

内 容 **播磨中央公園**

ステージイベント

【4/29】

・開会式典

シンボルサイン序幕 (地元保育園児によるエコ風船飛ばし)

アトラクション (ふとん太鼓 4 団体による競演)

・北播磨吹奏楽コンサート

地元中学校、高等学校の吹奏楽部

社高等学校ほか 4 団体の演奏並びに合同演奏

・北播磨伝統芸能大集合 PART 1 まつり神事

北播磨ゆかりのまつり神事関係団体

社町上鴨川住吉神社 宮座 (社町) ほか 4 団体の出演

【4/30】

・北播磨伝統芸能大集合 PART 2 ザ・太鼓

北播磨ゆかりの地元和太鼓団体

播磨之國 天元太鼓 (東条町) ほか 3 団体の演奏

・北播磨マイステージ

北播磨地域内のアマチュアバンド 4 団体の演奏

・ストレッチマンとあそぼ&ワンワンとあそぼ

NHK 番組の人気キャラクターワンワンとストレッチマンのステージ

【5/ 1】

・ふるさと歌舞伎まつり播州歌舞伎の世界

北播磨地域の播州歌舞伎をはじめとする県内の歌舞伎団体 5 団体の上演

・ふるさと歌舞伎まつり歌舞伎の魅力入門

歌舞伎役者 中村翫雀による「歌舞伎舞とトークショー」

・よさこい・フィナーレ

出演団体 北播磨地域を中心とした 12 団体の競演

バザール

- ・じばさんコーナー：北播磨の地場産品や特産品などの販売
- ・グリーンフェスタ：園芸グッズ、花の販売など

パビリオン

- ・北播磨インフォメーションとして、北播磨地域の風土・歴史・文化・自然の
パネルによる紹介

遊びゾーン

- ・冒険と工作のひろば：モンキーブリッジ、丸太遊び、工作など

他の会場

フラワーウェディング

- ・と き 4月30日(土)、5月1日(日)
- ・と ころ フラワーセンター花の広場(雨天の場合は温室内)
- ・内 容 一般応募により決定した2組(各日1組)のカップルが、春の花咲き
誇るフラワーセンターにおいて、人前式ウェディングを行う。

鉄道模型展

- ・滝野駅ギャラリーにてH0ゲージの鉄道模型展

歩いて見ようよ北はりま

- ・地域ビジョン委員会によるハイキング

(2) くつろぎ舞台

- 期 間 平成17年8月5日(金)～8月7日(日)
- 場 所 北はりま田園空間博物館総合案内所・周辺会場
- テーマ グルメ大集合
- 内 容 ステージイベント
鉄人と作る新名物料理、夕涼みコンサート、映画館、播州歌舞伎
グルメストリート
アイデア料理屋台
ちびっこ体験教室
パビリオン(北播磨インフォメーション)
北はりま田園空間グリーンツーリズム
【7/20～8/20】
北はりま田園空間スタンプラリー
北播磨の昆虫たち展

(3) ふれあい舞台

- 期 間 平成17年10月22日(土)～30日(日)
- 場 所 三木総合防災公園
- テーマ 元気大集合
- 内 容 ステージイベント
北播磨元気音楽祭、ワールドダンスフェスタ 他
パビリオン(レスキュー2005、山田錦まつり)
スポーツイベント
バザール(地場産品の販売等)
グリーンフェスタ
工作のひろば
防災拠点施設見学会
ハイキング
【同時開催(10/29～30)】
ふれあいフェスティバル2005
じばさん元気市

2 北播磨おもてなしキャンペーンの展開について

平成17年の北播磨交流の祭典の開催や平成18年度の「のじぎく国体」の開催に向けて、地域住民が一体となったホスピタリティの向上や機運の醸成など、北播磨地域への交流人の受入体制の整備を図るとともに、キャンペーン実施や地域食材を活かしたスローフードの開発等を行い、北播磨地域へのツーリズムを促進する。

- (1) 観光ボランティアガイド養成講座の開催
 - ・開催日：平成16年11月9日～12月7日の間、5回シリーズで実施
 - ・場 所：滝野町文化会館、アステシア加西
 - ・内 容：北播磨の自然、歴史と文化、伝統産業、接遇法、先進地見学
 - ・受講者：54名
- (2) 北播磨魅力再発見フォーラムの開催
 - ・開催日：平成17年3月21日（月・祝）
 - ・場 所：三木市文化会館大ホール
 - ・内 容：講演 童門 冬二氏（歴史作家）「自然と歴史文化あふれるまちづくり」
トークセッション「地域資源を活かした魅力あるまちづくり」
 - ・参加者：500名
- (3) 北播磨おもてなしキャンペーンの展開
 - ・平成16年8月29日（神戸）、9月11日（大阪）でキャラバンを実施
 - ・平成16年9月1日から11月30日の期間でスタンプラリーを実施
主要観光地37箇所及びイベント会場にスタンプを設置
応募総数 1,286通
- (4) 地域食材を活かしたスローフードの開発
 - ・試食会の開催
開催日：平成16年11月16日 場所：ホテルグリーンプラザ東条湖 出席者：32名
 - ・北播磨のスローフード料理集の作成
地域へのスローフードの普及を図るため、地域の食材や開発したスローフード（16品）等を掲載した料理集を作成し、地域の団体等に配布。

3 北播磨地域産業の振興について

海外製品との競合激化等、厳しい経済環境下にある管内地場産業産地が行う活性化方策の検討、ものづくり体験の機会提供、市場開拓の取組みを支援するとともに、特産品を通じた都市と農村との交流による管内地域産業の活性化を図る。

- (1) 三木金物体験工房の実施
 - 手作り体験を通じて三木金物をPRするため、三木金物商工協同組合連合会が各種イベント会場において設置する三木金物体験工房事業を支援した。
 - ・北播磨じばさん元気市(H.16.10.2～10.2 加西東産業団地 体験者59人)
 - ・三木金物まつり(H.16.11.6～11.7 三木市役所前 体験者127人)
 - ・プロツール&ハードウェアショー(H.16.11.25～11.27 インテックス大阪 体験者105人)
- (2) 三木金物元気アップ事業
 - 平成15年度に三木金物産地内の若手メンバーが中心となって策定した「三木金物産地活性化のためのアクションプラン」の推進の一環として、講演会等を開催した。
 - ・三木金物産地の振興方策を語る会の開催
 - ・講演会の開催(H.16.11.11 三木市立教育センター 講師：関満博氏（一橋大学大学院教授）
テーマ：地場産業の未来～三木金物産地の将来展望とその戦略～ 参加者：約100人)
 - ・勉強会の開催

(3) 播州織アンテナショップ開設調査・研究支援事業

都市部での販売・情報収集拠点となるアンテナショップの開設に向けて、播州織工業組合が実施した調査・研究事業に対して支援を行った。調査結果を踏まえ、平成 17 年度中に出店する予定。

- ・委員会等の開催（委員会：3 回、ワーキング会議：6 回）
- ・先進地等のヒアリング調査の実施
- ・播州織産地の現状、課題、問題点の整理
- ・播州織産地に適した P R 手法の検討

(4) 北播磨じばさん元気市の開催

北播磨地域の地場産業の活性化と、地場産品や地域の特産品、農産物等の販路拡大を促進するため、東・北播磨広域観光協議会が実施する「北播磨じばさん元気市」開催事業を支援した。

- ・開催日：平成 16 年 10 月 2 日（土）～ 3 日（日）
- ・場所：加西東産業団地（加西市）
- ・出店数：62 団体（60 ブース）
- ・内容：管内各市町の地場産品・特産品の展示・販売
地場産農産物、農産加工品、花、花苗等の販売
県機関の研究成果の P R 等
- ・来場者数：31,000 人（1 日目 15,000 人 2 日目 16,000 人）

4 北はりま田園空間博物館交流推進事業について

「北播磨、みんなで1500万人交流大作戦」の一環として、また「北播磨交流の祭典」の舞台として、来訪者に北播磨地域が魅力あふれる元気な地域であることを実感してもらうため、北播磨田園空間博物館の各サテライトの持つ潜在的魅力についての情報発信、地域の魅力を来訪者に楽しくわかりやすく説明することができる地域案内人（インタープリター）の養成を、N P O 北はりま田園空間博物館に委託実施し、住民の参画による交流の舞台づくりを推進する。

(1) 広報、集客

- ・イベントカレンダー、情報 MAP 等、各種パンフレットや、ホームページ等により、地域の情報を広く県内、全国に発信
- ・スタンプラリーやクイズラリーを実施し、北はりま田園空間博物館への来訪者増を図る。

北はりま田園空間博物館への入場者数等の状況

総合案内所来訪者 50 万人突破（6 月 23 日）【3 月末 68 万人（予想）】

田空夏まつり開催【参加者 1,500 人】（7 月 24 日）

ホームページアクセス 37,000 件

(2) 北はりま田園空間博物館出前講座の開催

博物館のサテライト運営者に、他の地域での取り組み状況から新たな視点でサテライトの運営方法等を学んでもらい、サテライトの活性化を図るため、「出前講座」を開催した。

開催回数：10 回（16 年度） 総参加人数：289 人

(3) 田園空間博物館案内人（インタープリター）養成講座開催

来訪者が、北播磨地域に興味を持ち、また訪れたいと感じるような説明技術（インタープリテーション）を習得するための博物館案内人（インタープリター）養成講座を開催した。

開催回数：5 回（16 年度） 総参加人数：91 人

(4) 今後の課題

田園空間博物館案内人養成講座の修了者による案内人連絡会“^{てんこもり}田湖森”の組織強化を図り、来訪者が気軽に地域を案内してもらえるシステムを構築する。

5 北はりまハイランド・ふるさと街道の整備推進について

北播磨の交流の舞台づくりに向けて、交流を支える基盤を充実させるため、北はりま田園空間博物館が展開する北はりまハイランド地区と高規格幹線道路を結び、骨格となる道路網を形成するため、北はりまハイランド・ふるさと街道の整備を推進する。

しかし、全体延長が約55kmと長いことから、地域づくりを支援するプロジェクト関連区間や交通上ネックとなっている区間等について早期整備を図る。

- (1) 主要地方道氷上加美線
 - ・丹波市氷上町三原～多可郡加美町丹治間 4.4km（トンネル部約1.8kmを含む。）
平成17年度から事業着手
 - ・上記に続く国道427号までの間 1.9km
県・加美町で役割分担を図りながら整備を進めており、国道427号との交差点部を除き、来年度中には概成する見込み。
- (2) 主要地方道中北条線
 - ・中北条線（加美町～中国自動車道加西IC間） 概ね2車線改良済
八千代町下野間地内自転車歩行者道整備 1.5km（16年度末に1.3km完成予定）
- (3) 一般県道玉野倉谷線
 - ・中国自動車道加西IC～山陽自動車道加古川北IC間 約10km
将来4車線化の構想を残しつつ、できる限り玉野倉谷線の現道を利用して整備を進め、早期に整備効果を発現させる。
平成17年度：自転車歩行者道（飯盛交差点より南）約1.1kmの整備着手
平成18年度：飯盛の交差点改良に着手予定
引き続き玉野、法華口の交差点改良も順次着手予定

6 ひょうご情報公園都市へのアクセス道路の整備推進について

ひょうご情報公園都市は、第1期分譲も始まり、すでに3社が操業を開始している。

また、三木総合防災公園についても、今秋に東側のスポーツゾーンの開園を予定しており、平成18年秋の「のじぎく兵庫国体」サッカー（少年男子）の会場として利用される予定である。

このため、周辺の交通混雑を緩和し、円滑なアクセスを確保するため、アクセス道路の整備を推進する。

- (1) 主要地方道三木三田線
 - 三木三田線は、ひょうご情報公園都市へのアクセス道路となるとともに、全県防災拠点である三木総合防災公園へのアクセス道路ともなる重要な路線である。
三木市大塚～三木市志染町戸田の間 延長約7.0km
 - ・パイパス方式で「(仮称)志染バイパス」として整備
 - ・三木市大塚～三木市志染町窟屋 延長約4.2km 平成7年度から整備
(平成16年度末)用地約85%、工事約50%の進捗 平成17年度末完成を目途に整備
 - ・三木市志染町窟屋～三木市志染町戸田延長約2.8km(未着手)についても、事業化に向けた取り組みを行う。
- (2) 主要地方道平野三木線
 - 平野三木線は、全県広域防災拠点である三木総合防災公園を縦貫する防災拠点へのメインアクセス道路であるとともに、山陽自動車道三木東IC、「ひょうご情報公園都市」へのアクセス道路ともなる重要な路線である。
 - ・平成10年度から延長約3km、4車線で整備に着手、整備完了したところから供用開始し、平成17年3月25日に全線開通した。
- (3) その他
 - ・市道青山笠松線（神戸電鉄緑が丘駅～平野三木線） 延長約0.6km
三木市が整備中、平成17年秋には開通見込み
 - ・これらの道路整備にあわせ、企業庁、防災部局等と連携を図りながら、ひょうご情報公園都市及び三木総合防災公園へのバスによるアクセス確保についても努めていく。